

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋素・室賀清輝
高橋利春・屋代健・飯泉隆史
近藤マリ子・近藤真弘・近藤善信

後援・株式会社アサヒ
印刷・(株)北越時報社



ご家族の皆さままでご覧ください

元号『平成』から『令和』へ

翠巖 弘

暑中お見舞い申し上げ
ます。

「初春令月、氣淑風和、
梅披鏡前之粉、蘭薰珮
後之香」

(初春の令月にして、氣
淑く風和ぎ、梅は鏡前の
粉を披き、蘭は珮後の香
を薫らす)

今年四月三十日に平成
天皇陛下は「退位礼正殿の
儀」に臨まれ、讓位されま
して上皇になられました。
皇太子徳仁親王殿下が五
月一日に第百二十六代天
皇に即位されました。元
号も「平成」から「令和」に
改元されました。

これまで元号は漢籍か
ら採られていましたが、
今回初めて国書「万葉集」
を典拠にして、巻五・梅花
の歌三十一首の序文で、
太宰府の帥(長官)大友旅
人が自宅の梅園に友人を

集めての歌会の際に周囲
の自然の美をめめた文章
だそうです。

「平成」は近隣諸国をは
じめ、世界平和を願い、日
本国内が安定し、世界中の
人々や国民の幸福を願う
年号でした。「令和」の「令」
は熟語に「令人：善人、り
つばな人・令名：よい評
判、名譽、名声・令徳：よい
徳行、美德・令典：よい(り
つばな)法典、法令などあ
り、又、形が整って美しい
さまを表しており、論語で
は美しいことは善であり、
善は最高の価値といわれ
ているそうです。

「和」は、やわらぐ、争そ
わない、仲よくなる、穏や
か、調和、等々の意味があ
り、「令和」は、心が美しく、
善をもって仲よく、争そわ
ず、穏やかに共に喜び合う
平和な世界を願う元号で

はないでしょうか。

最近では西暦の方をなじ
んで使う人が多くなりま
したが、私などは明治、大
正、昭和、平成〇〇年とい
われた方が時代感覚が浮
かびます。元号不要論も
出ていますが、国際日本文
化センター名誉教授の中
西進先生は、元号は文化
であり、新しい時代の目
標と言われています。

上の写真は安善寺檀家
総代で、故・太刀川進之介
様から昭和六十三年暮に
寄贈されたものです。

翌年一月八日に、元号が
「平成」に改元されました。
私が就職になってから約
二年後のことで、ほぼ平成
時代を就職として勤めさ
せて戴きました。「令和」
に改元された年に、就職
を退職するのも不思議な
因縁です。

【日々精進(四十五回)】

自分自身の綺麗な花を

咲かせるように精進します

近藤真弘

お寺の境内には様々な花が咲きその彩で楽しませてくれます。三月の椿から始まり、クリスマスローズ、梅桜、藤、つつじ、そして今は沢山のアジサイが咲き乱れています。今年、特に花に誘われたのかウグイスがひと月ほど毎日のように「ホーホケキョ」と鳴き続け、お寺でウグイスを飼っているんですかと、たずねる方もおられました。

季節ごとに楽しませてくれた花々もそれぞれの時期になれば散っていきます。花はそれぞれ散ることにも呼び方があることで、桜は「散る」椿は「落ちる」菊は「舞う」朝顔は「しぼむ」牡丹は「崩れる」などです。

中でも特に美しい表現だなと思つたのは梅です。梅は「こぼれる」と言うそうです。花の終わり方ひとつ表すのにも日本ならではの表現の多様さ、美しさには感嘆します。梅と言えば今年の五月

一日(私の誕生日)から新たな元号「令和」になりました。この令和の典故は万葉集の梅の花の歌だそうです。三十一年続いた平成から令和に代わりましたが、安善寺では皆様にもご案

内の通り新たな元号になった今年の十月六日に退董、晋山の法要を厳修いたします。現在の住職が昭和六十一年に晋山式を行ったので、安善寺にとつては三十三年ぶりの晋山式であります。

平成二十七年に大本山總持寺では二祖峨山韶禪師の六百五十回大遠忌が挙行されました。その時のテーマが「相承」大なる足音がきこえますか

「であります。相承とは師から弟子へ代々、仏の悟りの本体を伝え受け継ぐことです。曹洞宗では師から弟子へ法を伝えることを「嗣法(しほう)」といいますが、道元禪師の時代より師から弟子へ嗣法を繰り返す、正伝の仏法は

脈々と伝わってまいりました。私も住職から法を授けていただきこの秋に安善寺の住職になります。一ヶ寺の住職になりそのお寺を護るといふことは師と弟子や寺族だけでは決して出来ることではありません。檀信徒皆様のご協力、様々な皆様のご助力あつてこそ歴史あるお寺を護持することが出来ると思います。花は自身で種子を残す

ことが出来ません。その為、他の力を借りて種子を残し新たな芽を出し綺麗な花を咲かすことが出来ます。住職は退董して東堂となりますがまだまだ教わることは多くあります。毎年こぼれる「法」をしつかりと受け止めて、また多くの方々からご指導ご鞭撻を賜りながら自身の綺麗な花を咲かせるように精進してまいります。



受章に浴して



最高裁判所勲章伝達式会場

辨理士 黒田 勇治

このたび、図らずも、令和元年春の叙勲において瑞宝双光章の榮に浴し、身に余る光榮に存じます。これも偏に、安善寺方丈様をはじめ、長年にわたる皆様方のご指導とご支援の賜物と深く感謝致しております。

令和元年五月二十四日（金）、夫婦ともども最高裁判所の勲章伝達式に出



勲章

式及び伝達式の服装はモーニングコート、又は紋付羽織袴に決まっていたので、服装を整えるために午前五時過ぎには起床して、準備しておくべき物品や身の回り品などを万全に手抜きなく準備をしておく必要がありましたので、とても慌ただしい朝でした。

準備を終えると、タクシーで、伝達式が行われる最高裁判所大会議室へ向かいました。最高裁判所長官より勲章の伝達があり、伝達式終了後、初めて勲章を身に付けました。

当日は伝達式に相応しい抜けるような青空の好天に恵まれました。拝謁

席し、皇居に参内し、新天皇陛下に拝謁してまいりましたので、その体験をご報告致します。

勲章伝達式前日は、東京プリンスホテルに前泊し、アナンダ（赤坂にて大好きなタイ料理を食べ、明日に備えました。

当日は伝達式に相応しい抜けるような青空の好天に恵まれました。拝謁



事務所第一応接室

約十九年間に及ぶ調停委員としての活動を振り返ると、とても感慨深いものがありました。その後、立食形式の懇親会が行われ、手配されたバスに乗って最高裁判所を出発して皇居へ向いました。

拝謁式は、皇居の「豊明殿」で執り行われました。皇居の中は広いのですがその皇居の中でも「豊明殿」を擁している建物は、一番大きいそうです。暫く経った頃、新天皇陛下が「豊明殿」に御出ましになりました。新天皇陛下は壇上に登られ、お言葉をお賜り、その後、並んでいる受章者の前を会釈をされながら歩いていかれました。

之を生じ、之を畜う。生じて而も有せず。為して而も恃まず、長じて而も幸らず、是れを玄德と謂う。『老子』

三人が国際大会に出場します！

安藤 昭子



生です。この度、さやかがトゥーバトン、成海と屋代菜々子さん(付属中学二年生)がペアでフランスで開催される国際大会に選ばれました。屋代さんとは同じ安善寺のお檀家ということで不思議な縁を感じます。

軽い夕食を食べて中之島体育館、市民体育館、アオーレ、リリックホールなど、日によって違います。夜の九時過ぎころまで練習です。温かく、厳しく先生に指導していただき、時には出来なくて悔しくて涙する場面もあります。が、バトンのお友達と一緒に切磋琢磨して頑張っています。

います。

北陸大会、全国大会の時は、必ず家ではお仏壇の前に置いてある二つの石を玄関で二人にたたいて激励して送りました。ペアの成海と屋代菜々子さんも大会の時、お互いに握手をしてから演技をするそうです。きつと、何年後、何十年後には、令和元年



に国際大会に出場した素晴らしい思い出になっていると思います。

「バトントワリング」

バトントワリングはアメリカ合衆国が発祥のスポーツで、1977年世界におけるバトントワリングの競技人口の急激な増加により、世界バトントワリング連合(WBTF)が設立され、2015年10月の時点で26か国の国と地域が加盟しています。3名が出場する大会は、WBTFインターナショナルカップ及びIBTF(国際バトントワリング連盟)グランプリ大会で、隔年奇数年に開催される国際大会です。



八月四日から十一日まで、フランスのリモージュで行われる国際大会に向けて毎日のように学校から帰ってすぐ

元気づけたい！との思いから始めたそうです。その演技を長岡祭で見て「習いたい」と思ったそうです。

孫のさやかと成海がバトントワリングを始めから十三年になります。今は、さやかが高校二年生、下の成海が高校一年

中越地震後、二人の子供がアパートに帰るのが嫌だと云う事で孫達との同居が始まりました。

ちょうどその頃、バトントワリングとの出会いがありました。幼稚園のお友達のお母さんがバトントワリングの先生であり、震災後、長岡の皆さんを

もう一度あいたい

水沢 康子

一つだけ、望みをかなえてあげると、いわれたら、みんな夕食を食べたい。中越地震の前の年、この地に家を新築し、七人で越して来たね。毎日が楽しかった。孫の通学パトロールをし、前が保育所で迎えに行くときは着替えて行ったおしゃれなお爺さん。

それから、三年後、夏の暑い日に私の前からいなくなつた「こずさん」。嫁さんの名前は、こず美…。はじめで息子がこの人と一緒になると連れてきた時、わあ観音様が家に来た。可愛くて、氣立てが良くて、おとなしくて、こんないい子が家にくる、うれしかったね。

一緒に住むようになって、約束がひとつある。「口に出してね」黙っているとならない。今から二年前、得意のキュウリと肉の炒め物をし、楽しい夕食をし、スイカを食べたとき、「うまいスイカだね」。その後、急にいなくなるんだもの。病院から帰ってきた貴



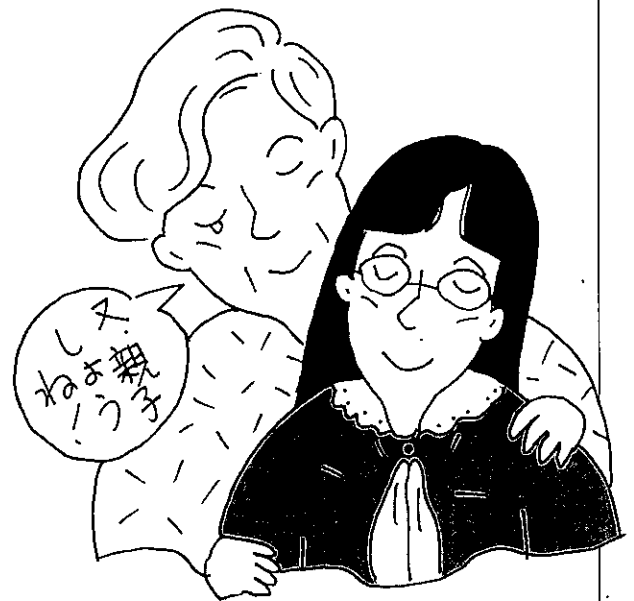
女は、観音様だったね。あつという間で、涙。涙・涙…。花火が大好きで土手まで見に行き、来年もまた見ようと云つていたのに。写真と一緒に友達と見たね。そつちの生

活は慣れたの…。

でも、私はもう一度逢いたい。夢の中のこずさんは、笑っている。具合悪くて寝ていると心配そうに來るね。こずさんは、お父さんと同じ年に氣をつけられね、貴女は私を送ってからだよと云っていたのに。こずさんが可愛がって育てた孫は、仕事頑張っているよ。いつも手を合わせて行くよ。分かれたとき高校一年だった娘は、進学の事を考えているよ。分かれた時のあの子の一



すじの涙、忘れないよ。みんなの中に爺さん、こず



さんがいます。五月晴れの日、三回忌、七回忌をします。思い出るとともに私らのそばにいるかもしれないね。愚痴ひとつ云わないで、いつも静かにしていたこずさん。仏様に抱いてもらいなね。こつちの私らのそつちにいる、酒好きなお爺さんの事をたのみます。私にはもつたないくらゐのこずさんだった。いづれ私も行ったら、また親子しようね。ありがとうこずさん。元気でね。

「KAKA笑の会」

故郷・新潟で、越乃リユウ・リサイタル

加瀬由起子

「越乃リユウ・リサイタル(第28回・KAKA笑の会)」が、5月25日夕、本堂にて開催されました。安善寺との深いご縁で実現したコンサートです。

黒い衣装で現われた身長170センチ超のリユウさんが、照明に浮かび上がり、ただようオーラ！まさにタカラヅカ男役だつたりユウさんの面目躍如です。



歌い始めのタカラヅカのテーマ曲「すみれの花咲くころ」に早くも会場のお客様は、うっとり。続いて、ジャズのスタンダード「テネシーワルツ」、ちあきなおみの「たそがれのピギン」を、しつとりと歌い上げます。



宝塚音楽学校時代、そして月組組長として舞台上で活躍の時期に、心の隅に故郷・新潟の浜がよみがえったそうで、新潟市民歌でもある曲「砂浜で」に、思いを重ねて歌われました。岩崎宏美の歌唱力と美しいメロディで、覚えたという「マドンナたちのララバイ」を情感たっぷりに歌います。

長岡で過ごした一時期、水穴町在住の祖父に可愛がられたエピソードと、残っていた軍歌の録音も特別に披露。タカラヅカ時代の曲「グランドホテル」「桜散る」と続き、ラストは「愛の燐歌」。感激で席を立たないお客様のためにアンコール「愛の讃歌」のプレゼントもあり、素敵な夜となりました。

映画製作の報告

『典座-TENZO-』

以前から紙面でもお伝えしておりました、全国曹洞宗青年会製作映画「典座・TENZO」ですが、この度第七十二回カンヌ映画祭の批評家週間特別招待部門に選出されカンヌの地で上映されました。映画はこの秋に愛知県で開催される国内最大級の現代アート祭典「愛知トリエンナーレ」での上映や



徳を含むことの厚き者は、赤子に比す。『世説新語』

映画オフィシャルサイト
<http://sousei.gr.jp/tenzo/>

10月6日(日)の諸法要 ~その1~

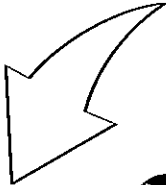
副住職通信

晋山結制について



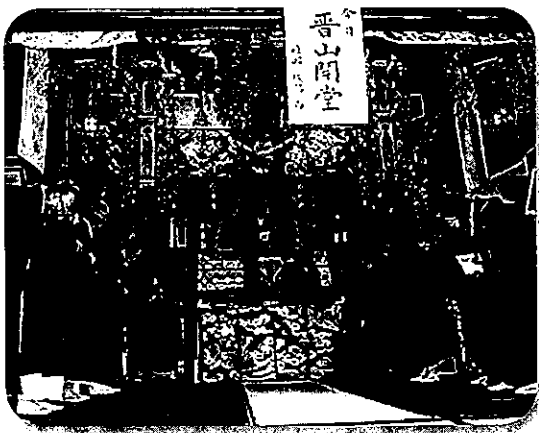
あんげしょふぎん 安下処諷経

安下処とは新命方丈が寺に上山する前に身支度を整える場所。新命方丈は五侍者を伴って安下処に赴き、仏壇前で先祖供養の法要を厳修する。その後行列を組み安善寺の山門に向かい出発する。



しんさんしき 晋山式

晋は「進む」、山は「寺」のこと。お稚児さんも加わる行列で山門に到着した新命方丈は決意の言葉を唱えその後本堂内で本尊様や開山様にご挨拶の言葉をお唱えする。



けっせいじょうどう 結制上堂

安善寺に正式に上山した新命方丈は本堂の須弥壇に登り、祈りの言葉、報恩の言葉をお唱えし、式に参加されている大勢の僧侶たちと大問答を繰り広げます。ここで新命方丈の力量が問われます。

次号では10月6日(日)の行持 ~その2~ をご案内します

ボブの独り言

私はどうしたらいいの？

ボブの独り言

「そこは、道路だから遊んじゃダメ……」スピード出しすぎ……もうお昼だから、いったん家に入りなさい」遊んでいる子供達に家の中から親の声がするのです。少し前までは、あたりまえだったのですが、最近、こんな光景はめつたに見られなくなりましたが、お寺の周りは、子供達の声で、本当に賑やかになりました。小学校三年生以下の子供が九名も任んでいるのです。

土・日になると、自転車でキヤーキヤー言いながら、あえて水たまりの中に入行って着ているものを汚したり、草むらに入行って、虫を探していたり、自転車で猛スピードで競争したり、見ているハラハラするくらいです。



一日終わると、汗びっしりにグッタリで、食事もとらずに寝てしまうこともしばしば……近所の人々も久々に元気な子供の声が聞けて……って、子供が元気に遊んでいる声は周りで聞いていても、パワーを貰えるようです。私はそ

んな中に顔を出すのは苦手なので二階で休んでいるのですが……
この前、バーバが近所の郵便局に行ったら「お寺は猫ちゃんを飼っていますよね、黒白の猫ちゃんですよね……？」朝カギを開けたら、郵便局のド

アの前で坐って待っていたんですよ……」って、それを聞いたバーバは「こんな所までくるかなあ」と思いながら帰ってきて話したら「黒白の猫が近所にいるんですよ！でも、ボブの方が可愛いんですよ……」と、久美さん。
日中は、本堂の大戸・窓は全開にしてあったので、自由に出たり入ったりできたのですが、本堂の周り全部に網戸が入っているではありませんか？何処からも自由に出入りができなく、どうしたものかと、年を重ねた私にとって、最大の悩みのたねになりました。

ニヤーン

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。
ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職が答えられます）など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

編集 雑感

6月18日22時22分山形県沖にて大きな地震があり、山形県庄内市や鶴岡市、新潟県でも特に村上市が大きな被害を受けました。

長岡でも地域によっては震度5弱を計測しました。久しぶりに大きな地震を体感し恐怖を感じました。が私の周りでは大事には至らなくて安心いたしました。携帯電話からの地震警報のアラームの音は今でも忘れられません。
九州は熊本でも2016年4月14日地震が起き、大変な被害をもたらしました。当社も復興を目的とした旅行を行い、被災地を訪問して復興祈願の法要などを行って参りました。

そして今年度の曹洞宗

全国梅花流奉詠大会は熊本にて行われました。震災の地に復興を祈願し、大会が行われる事はとても素晴らしい事だと思います。新潟県よりも多くの方からご参加を頂きました。現地の方の熱気も大変伝わりました。2日間の大会は盛大のうちは無事終了致しました。
熊本県のシンボルである熊本城は天守閣のシャチホコや瓦が落ち、石垣や門が崩れ、大きな被害を被りました。石垣の損害を見ると完全修復までまだまだの様子ですが、天守閣などは修理が大分進み、今年の秋には特別公開を予定しています。天守閣には登れません。近くまで行けるそうです。
私は震災の地を訪問し、復興の様子を見学し、現地の方に話を聞いたり、現地の空気に触れる事はとても大切な事であり、またその記憶を忘れてはいけなないと考えています。皆様も機会がございましたら復興の地を訪れて少しでも復興のお手伝いをしてみるのはいかがでしょうか。

飯泉隆史

第八十七号、秋号は敬和元年九月十三日(金)発行予定で